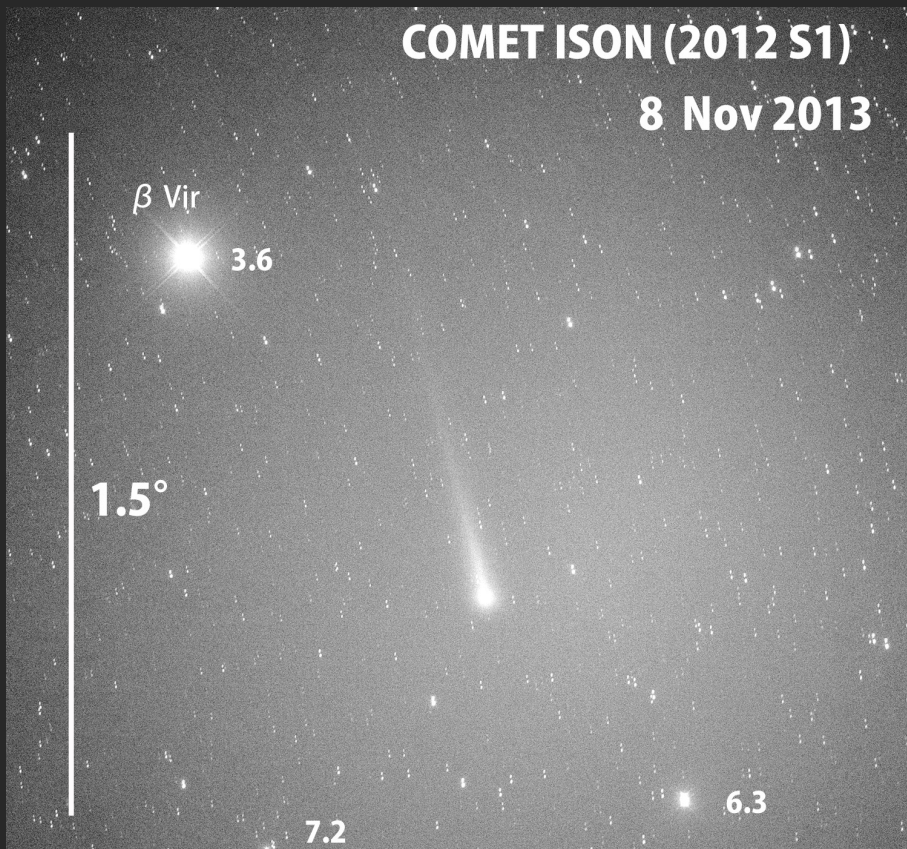


天文教育 11

2013

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



- <年間特集> 彗 星 <速報> ヒッグス粒子の発見について
<特集> 2012 年 5 月 21 日の金環日食に関する調査から
<特別記事> 宇宙を学べる大学・天文学者のいる大学～2013 年版～

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで 6～10 ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで 2～4 ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで 1 ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで 1 ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと 400 字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・**締め切り**は 1 は原則として奇数月末日、2～7 は偶数月 15 日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・**広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料は B5 判 1 ページ ¥20,000、半ページ ¥12,000、1/4 ページ ¥7,000、チラシの折り込み ¥20,000 です。

本誌に掲載された記事は、1 年後以降に当会ホームページ (<http://tenkyo.net/>) にて pdf ファイルの形で一般に公開することを予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合はご投稿の際にその旨ご連絡ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますようお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則として Microsoft Word ファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word 以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net

表紙の言葉

11 月 8 日未明のアイソン彗星

日時 2013 年 11 月 8 日 4h47m から 4h47m
口径 16cm、F=3.3 アストロ・カメラ使用
場所：志賀高原（長野県） 撮影：大西浩次

アイソン彗星が太陽に向かっていて、太陽に最も接近する 11 月 29 日午前 4 時頃、約 100 万度の太陽コロナの中を通過する。11 月 8 日未明のアイソン彗星は、当初の予報より 3 等級暗い 7 等星であった（表紙）。

このような太陽をかすめる彗星の中には、近日点通過前後に、太陽の熱や潮汐力によって、彗星核が分裂するものが多い。筆者は、アイソン彗星は分裂すると予想している。もし、そうならば、非常に明るく長い尾が生じるだろう。そうで無い場合でも、12 月上旬には尾の長さが 20 度前後、彗星の明るさが 3 等星前後の彗星として見えるはずだ。

撮影と文：大西浩次